

日本共産党 北茨城市議会議員

鈴木やす子



● 紹介 ● 北海道旭川市出身。昼は働きながら、東京都立大学(夜間)卒。専攻は教育学。長女誕生を機に、土の上で子育てをしたいと夫のふるさと北茨城に。以来20年、約4haの田畑で有機農業、自然卵養鶏。市議2期。7人家族。1956年生まれ、48歳。住まいは磯原町木皿1399。☎ 42-2462 <http://www.suzuki31.com/yasuko/>

日頃より大変お世話になっております。補選につづき、4年前の通常選でも、皆々まの大きなお力で議会に送りだしていただきました。清潔・革新をつらぬき「住民こそ主人公」の立場で全力で頑張る決意です。この支援を心よりお願い申し上げます。

ひたむき・全力

いのちと暮らしのために

日本共産党
鈴木やす子

アメリカ大使館の前で、イラク攻撃反対を訴える集会に参加。



県の土木事務所を訪れ、大北川の護岸ブロック崩落を伝え、早急な対策を求める。



新潟県中越地震への救援募金を街頭から訴え。



皆様のお力で議会に送って
いただけて以来、鈴木やす子
は毎回の議会で必ず一般質
問に立ち、市民の願いを市政
につないでまいりました。議
会の内外で全力をつくしてき
た活動アルバムから、一端を
報告させていただきます。

人のすこやかな成長と、農業の将来を
見すえ、有機農業に取り組んで20年。
田んぼに咲きそろうレンゲソウは、稲
の肥料です。



市民の願いにこたえうる市政を

4年前の市議選で私、鈴木やす子は、老朽化した明德小学校の建て替えを強く訴えました。繰り返し議会で取りあげ、設計には地域の皆さんの要望も反映させるよう提案しました。その結果、本市では初めて校舎建設懇談会が設置され、さまざまな提言もなされました。

そうして完成した新しい校舎をめぐって、磯原町のSYさんがこんなお話を寄せてくれました。

「阪神大震災をふりかえるテレビ番組のなかで、避難先の学校に車イスで入れるトイレがなくて苦勞し

た人が出てたんだ。新しくできた明德小学校はどうなってるのかと、市役所に電話したら、大丈夫ですと親切に答えてくれたので安心したよ」

地域住民の声も取り入れた学校建設、車イスでの生活を気づかう温かい市民、きちんと向き合う市職員…そういう前向きな街づくりを広げていくために、いっそう頑張りたいと決意しています。

一方で残念なのが、建築工事をめぐって談合疑惑が指摘されたこと。不明朗な行政をただすために皆さんと力を合わせてまいります。



明德小学校の新校舎